

令和6年度 第1回 南城市地域公共交通会議資料

Nバス及びおでかけなんじいの利用状況

令和6年4月

南 城 市

1 概況

- Nバスとおでかけなんじいをあわせた市内の公共交通利用者数は、増加傾向で推移しており、令和4年4月の419人/日から令和6年3月には593人/日と2年間で174人/日、増加しています。
- その中でも、令和6年2月は過去最高の666人/日の利用がありました。
- 公共交通再編（令和元年10月）前の「路線バスの市内区間」と「おでかけなんじい」をあわせた利用者数は、約260人/日であったことから、再編から4年6ヶ月で利用者数は約570人/日へと2.2倍に増えたことになります。

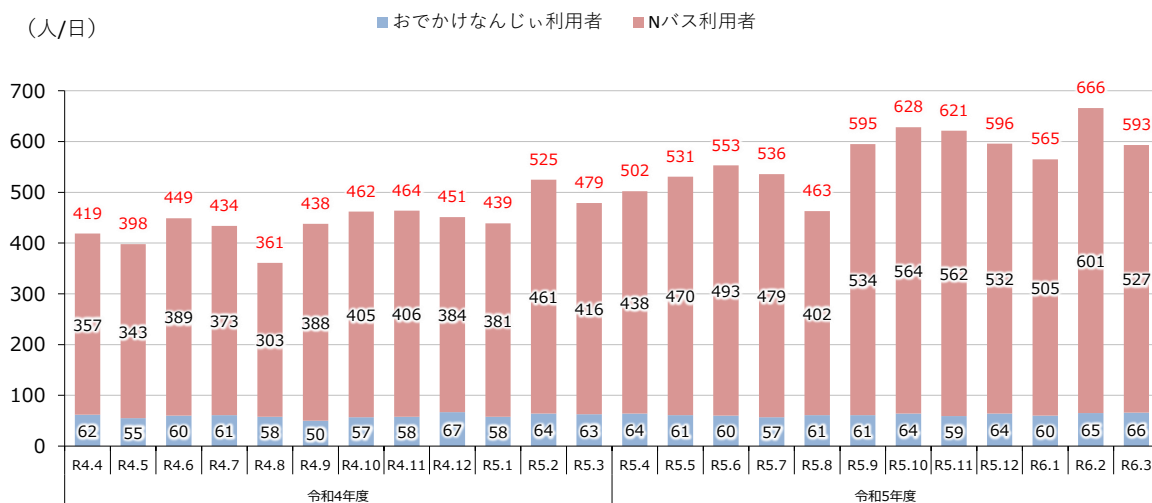
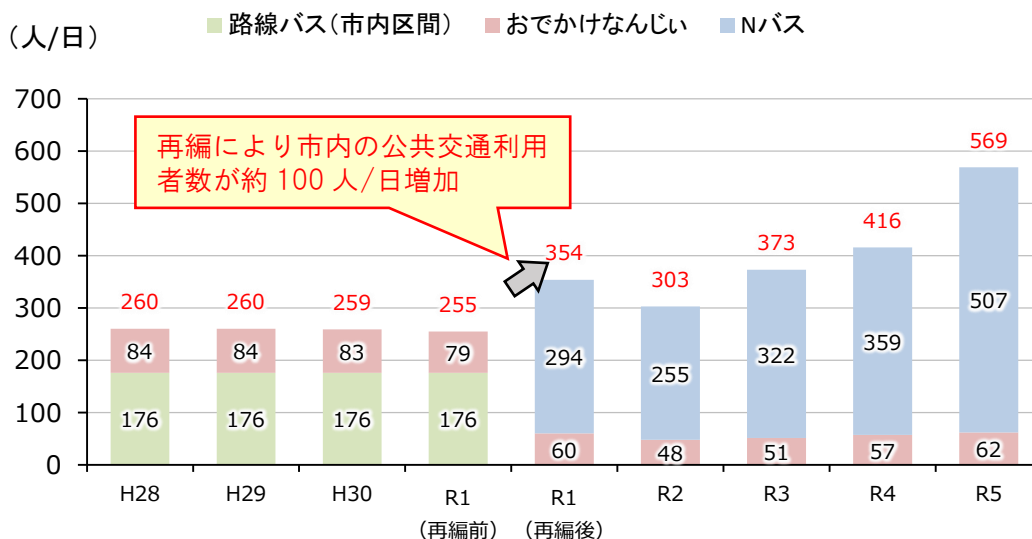


図-1.Nバス及びおでかけなんじいの利用状況の推移



※路線バスの利用者数は、H25 沖縄県調査より、市内区間のみの利用者数を整理
※R1(再編後)以降のデータには、路線バス利用者数は含まれていない。

図-2.市内の公共交通利用者数の推移

- Nバスの年間利用者数は、通年で運行した令和2年度の92,939人/年から、令和5年度は184,911人/年へと約2倍に増加しています。
- おでけなんじいは、令和1年10月のNバス運行開始、その後の新型コロナウイルス感染症の流行により、令和2年度は利用者数が17,169人/年と再編前の平成30年度より約1万2千人/年、減少しましたが、令和3年度以降、徐々に利用者が増加しており、令和5年度は24,102人/年まで回復しています。

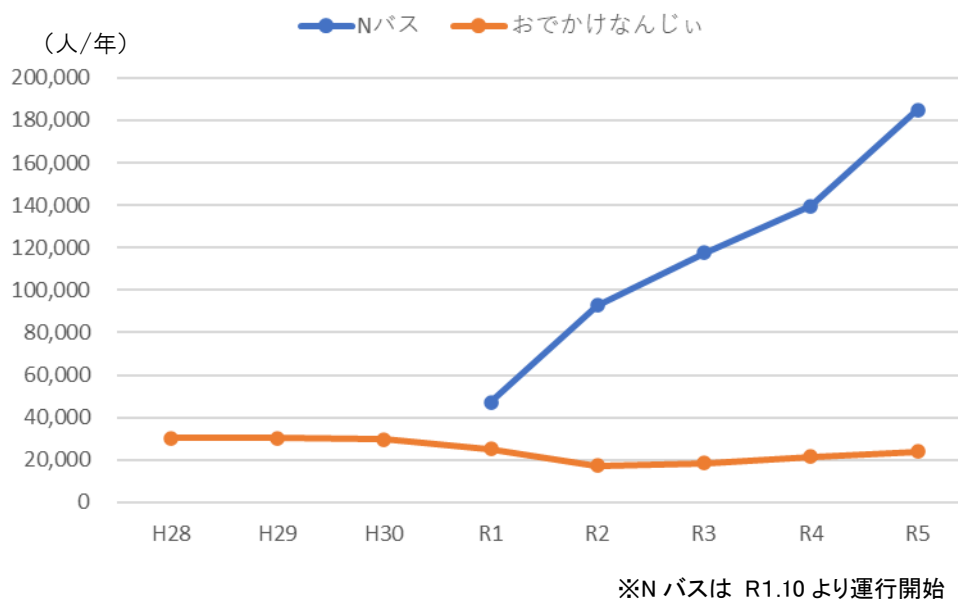


図-3.Nバスとおでけなんじいの年間利用者数の推移

表-1.Nバスとおでけなんじいの年間利用者数の推移

	Nバス	おでけなんじい
H28		30,303
H29		30,364
H30		29,642
R1	47,299	25,087
R2	92,939	17,169
R3	117,505	18,469
R4	139,733	21,437
R5	184,911	24,102

2 Nバスの利用状況

2.1 Nバスの運行見直し内容

- 令和6年4月1日の運行見直しにより、F3系統を廃止しD2系統に振り替えを行い1便増便、F2系統及びD1系統（2便目）の玉城こども園への乗り入れの廃止が行われています。
（F2系統の玉城こども園への乗り入れ廃止により、F2系統はルートが重なるF1系統と統合しF系統として運行）



Nバスの各路線の概要	起終点と主な経由地	備考
A1 佐敷・知念・百名線	南城市役所→佐敷→斎場御嶽入口→百名→親慶原→南城市役所	A2 の反対回り
A2 百名・知念・佐敷線	南城市役所→親慶原→百名→斎場御嶽入口→佐敷→南城市役所	A1 の反対回り
B1 佐敷・ニライカナイ橋・つきしろ線	南城市役所→佐敷→斎場御嶽→東つきしろ→親慶原→南城市役所	B2 の反対回り
B2 つきしろ・ニライカナイ橋・佐敷線	南城市役所→親慶原→東つきしろ→斎場御嶽→佐敷→南城市役所	B1 の反対回り
B3 つきしろ線	南城市役所→親慶原→東つきしろ→親慶原→南城市役所	平日のみ
C1 玉城・大里線	南城市役所→糸数→奥武島→玉泉洞前→仲程→南城市役所	C2 の反対回り
C2 大里・玉城線	南城市役所→仲程→玉泉洞前→奥武島→糸数→南城市役所	C1 の反対回り
D1 玉城東回り線	南城市役所→親慶原→百名→奥武島→玉城小学校前→南城市役所	平日のみ
D2 玉城西回り線(向陽高校経由)	南城市役所→玉城小学校前→向陽高校前→百名→南城市役所	平日のみ
F1 玉城西回り線	南城市役所→船越→玉城小学校前→南城市役所	平日のみ
F2 玉城西回り線(玉城こども園経由)	喜良原→船越→玉城小学校前→玉城こども園→南城市役所	平日のみ
F3 玉城一周線(玉泉洞経由)	南城市役所→糸数→玉泉洞前→奥武島→百名→南城市役所	平日のみ
G 向陽高校線(大里経由)	南城市役所→真境名→古堅→仲程→船越→玉泉洞前→向陽高校前	平日のみ

表 1.令和6年4月のNバス運行見直し内容

2.2 利用者数の推移

- 概況でも示したように、Nバスの利用者数は増加傾向で推移しており、令和4年4月の357人/日から令和6年3月には527人/日へと170人/日、約1.5倍へと増加しています。
- 利用者数増加の要因としては、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことや、令和5年6月より、市内在住の65歳以上の方または障がい手帳をお持ちの方を対象に「Nバス運賃支援事業」を開始したことが考えられます。

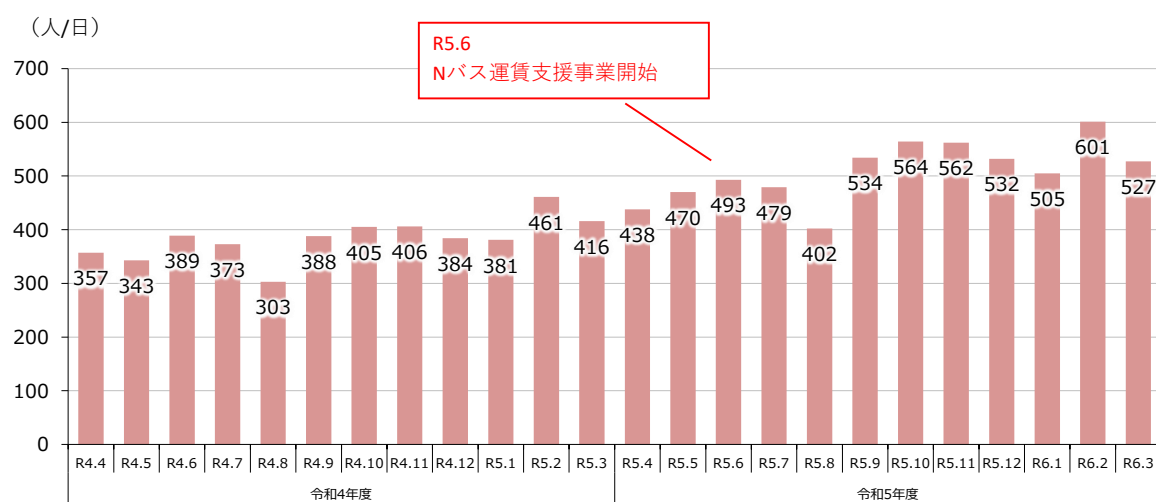


図-4.Nバス1日当たりの利用者数の推移

2.3 運賃区分別利用者数の推移

- Nバスの運賃区分別の利用者数は、「一般」が36%と最も多く、次いで、「高校生」18%、「中学生」13%、「小学生」13%の順に多くなっています。なお、「現金」での支払い20%は、支払方法の都合により一般、高校生、中学生、小学生の区別が不明となっています。
- 運賃区分別の利用者数の推移をみると、一般は令和4年4月の128人/日から令和6年3月は211人/日と1.6倍に増加、学生全体は、令和4年4月の160人/日から令和6年3月は191人と1.2倍に増加し、どの年代においても利用者数が多くなっております。

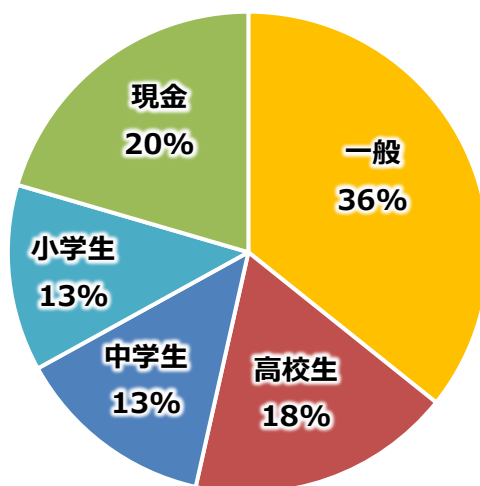


図-5.Nバスの運賃区分別の利用者数(令和5年度)

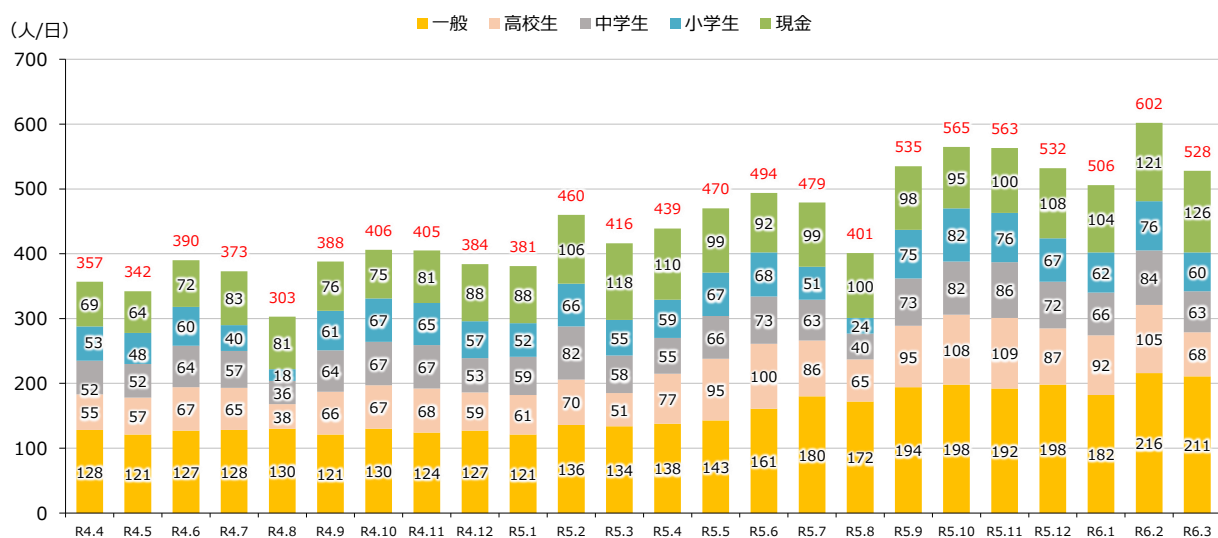


図-6.Nバスの運賃区分別の利用者数の推移

2.4 券種別利用者数の推移

- 令和5年度のNバスの券種別の利用者数をみると、「回数券」が41%と最も多く、次いでNバス運賃支援事業を適用したこともあり、「OKICA」が40%（65歳以上11%、障がい者4%含む）、「現金」19%となっています。
- 年代別に運賃区分別券種別の利用区分をみてみると、一般は、「OKICA」が約7割、「回数券」が約3割となっています。
- 「回数券」の割合は、小学生が78%、中学生が87%と高く、市内のみの登下校の利用であれば、運賃がお得な「回数券」の利用が多くなっています。

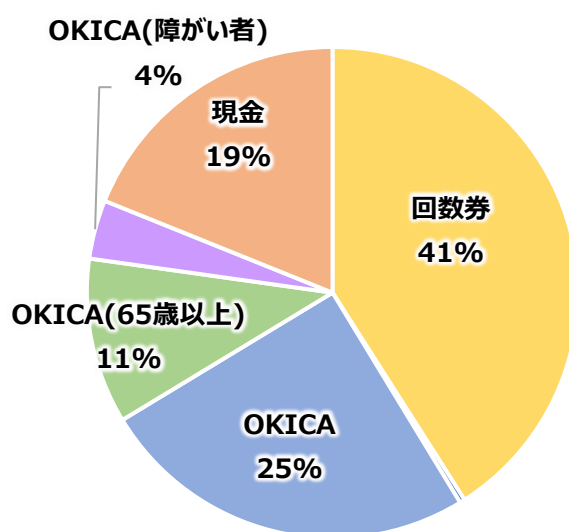


図-7.Nバスの券種別の利用者数(令和5年度)

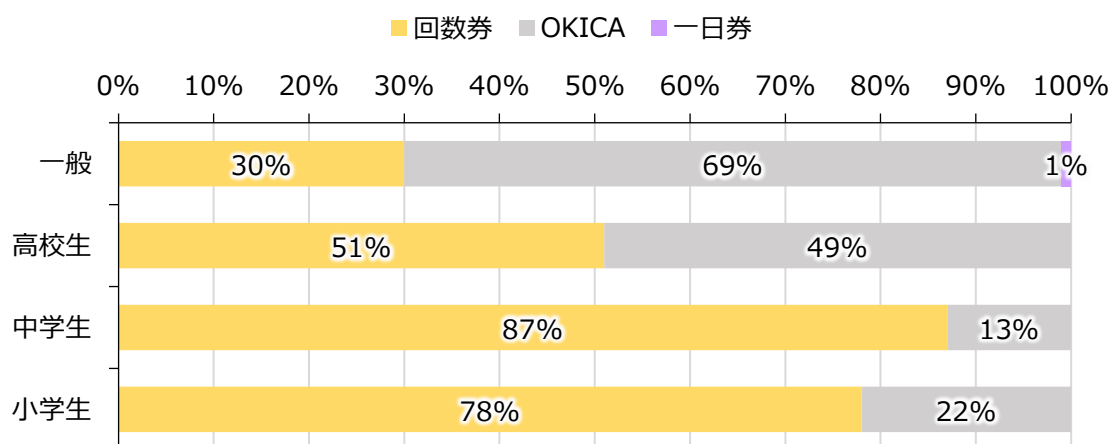


図-8.Nバスの運賃区分別券種別の利用者数(令和5年度)

2.5 曜日別利用者数の推移

- 曜日別の利用者数をみると、平日は、学校が長期休暇となる8月の利用が非常に少なくなりますが、8月を除くと増加傾向で推移しており、令和6年2月は724人/日と初めて700人/日を突破しました。
- 平日に比べると、土曜日、日祝日の利用者数が少なく、土曜日が350人/日前後、日祝日が300人/日前後と平日の6割程度の利用となっています。
- 土曜日、日曜日ともに利用者数は少ないものの、どちらも令和4年度に比べると、すべての月で前年同月を上回っています。

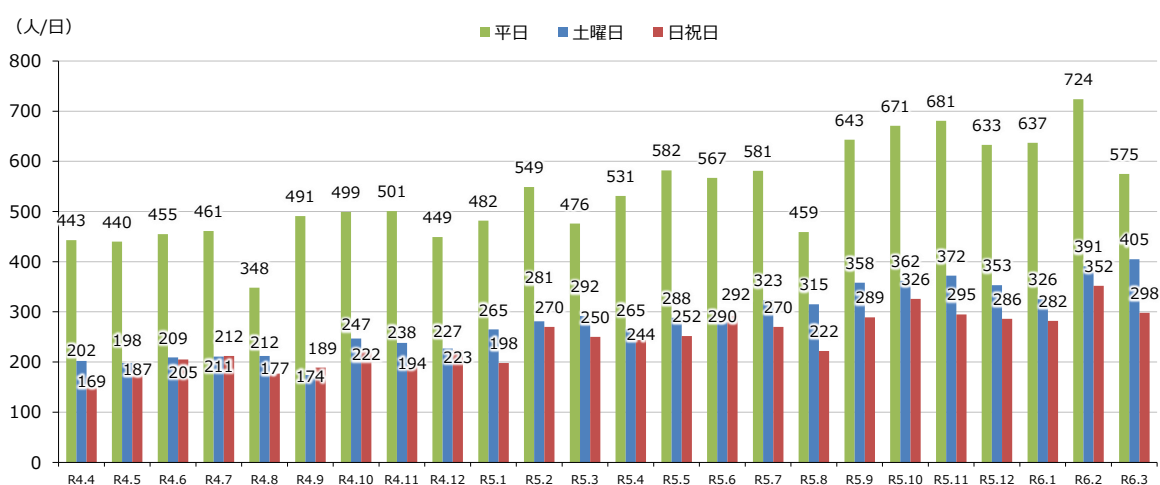


図-9.曜日別利用者数の推移

3 おでかけなんじいの運行・利用状況

3.1 運行形態

- 昨年度の第5回公共交通会議で、おでかけなんじいの運行見直しの承認を受け、令和6年10月より、運行時間の見直しを実施します。
- すべての曜日で利用が少ない8時台の運行を取りやめ、平日は9時台～17時台、土曜日及び日祝日は9時台から15時台の運行となります。

表 2.「おでかけなんじい」の運行計画

項目	内容	
名称	おでかけなんじい	
デマンドバスの運行範囲	久高島を除く南城市全域	
利用対象	南城市を訪れる観光客及び南城市民（年齢制限なし）	
利用運賃	一人一律、1回500円（未就学児は無料） ただし、75歳以上の市民は200円	
運行形態	ドア to ドア方式の区域運行（フルデマンド）	
運行曜日	平日・休日(土日祝)の毎日 ※12/31～1/3は除く	
運行時間帯	～2024.9.30	2024.10.1～
	●8時台～19時台の1時間ごとに運行 ●平日9時台～18時台は3台/時、それ以外は2台/時運行	●平日は9時台～17時台、土曜日及び日祝日は9時台～15時台の1時間毎に運行 ●平日は3台/時、土曜日及び日祝日は2台/時運行
運行車両台数	最大3台（5人乗り車両）	
利用方法	観光客は登録不要。南城市民は登録制で、利用したい便の30分前までに電話にて予約。ただし、9時台は前日までの予約が必要。	
運営体制	運行業務及びオペレート業務は、地方自治法に基づく随意契約で選定。	

表 3.「おでかけなんじい」の曜日別時間帯別運行台数

曜日	時期	時間帯											
		8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時
平日	～2024.9	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2
	2024.10～	—	3	3	3	3	3	3	3	3	3	—	—
土日祝日	～2024.9	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	2024.10～	—	2	2	2	2	2	2	2	—	—	—	—

3.2 運行便数

- 1日当たりの運行便数は安定しており、令和5年度は26便/日～28便/日で推移しています。

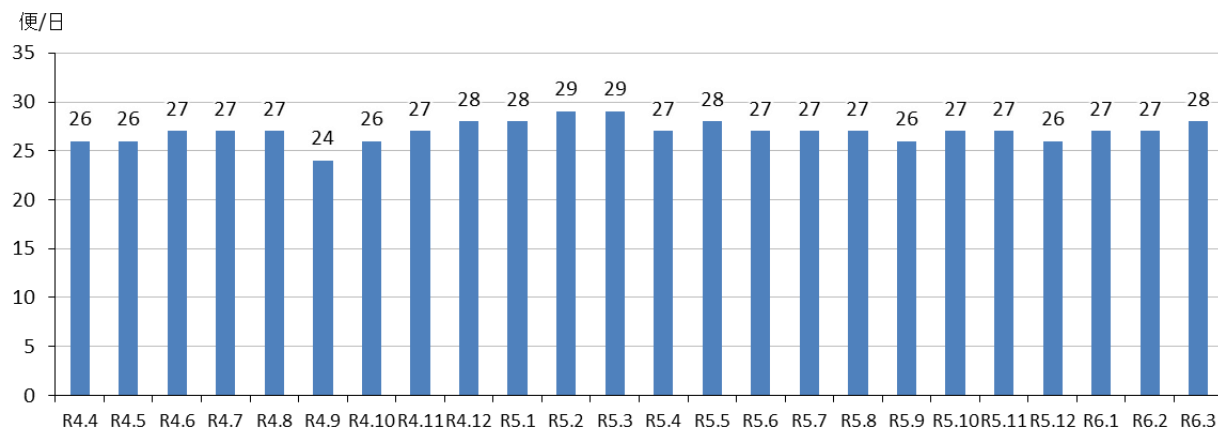


図-10.「おでかけなんじい」の運行便数の推移

3.3 利用者数

- 新型コロナウイルス感染症の影響が残っていた令和4年度は、月別の利用者数の変動が大きくなっていましたが、令和5年度は、1日当たりの平均利用者数が、57～66人/日で推移しており、利用者数が安定してきています。
- 令和5年6月から「Nバス運賃支援事業」が行われておりますが、「おでかけなんじい」の利用者数は安定しており、事業による「おでかけなんじい」利用者数への影響はみられません。

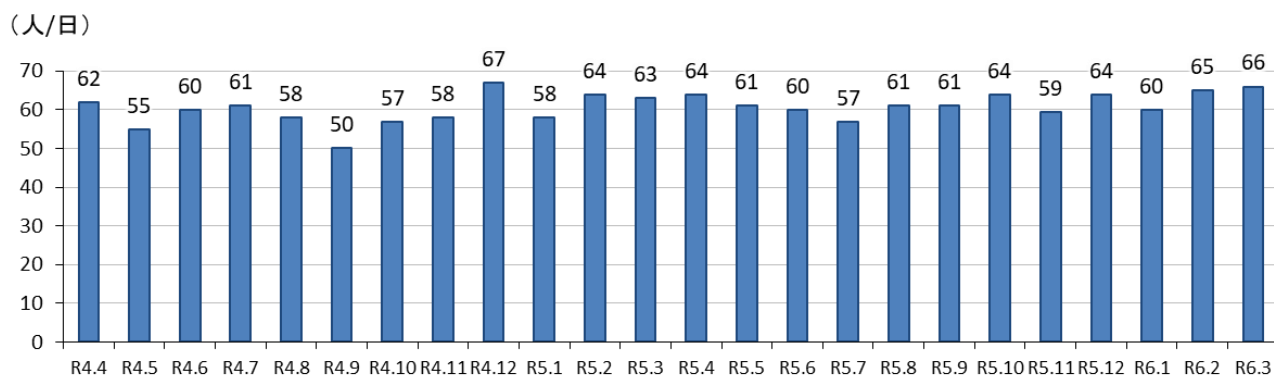


図-11.「おでかけなんじい」の利用者数の推移

3.4 曜日別の利用状況

- 令和5年度における曜日別の利用状況をみると、平日は67～77人/日で推移しているのに対し、土曜日は42～58人/日、日祝日は29～40人/日で推移しており、土曜日、日祝日は平日に比べ20人/日以上利用者数が少ない状況です。

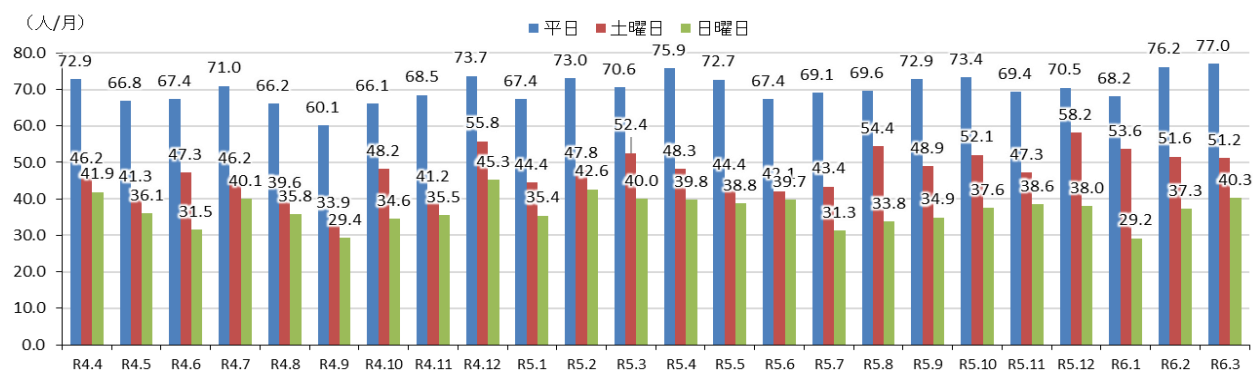
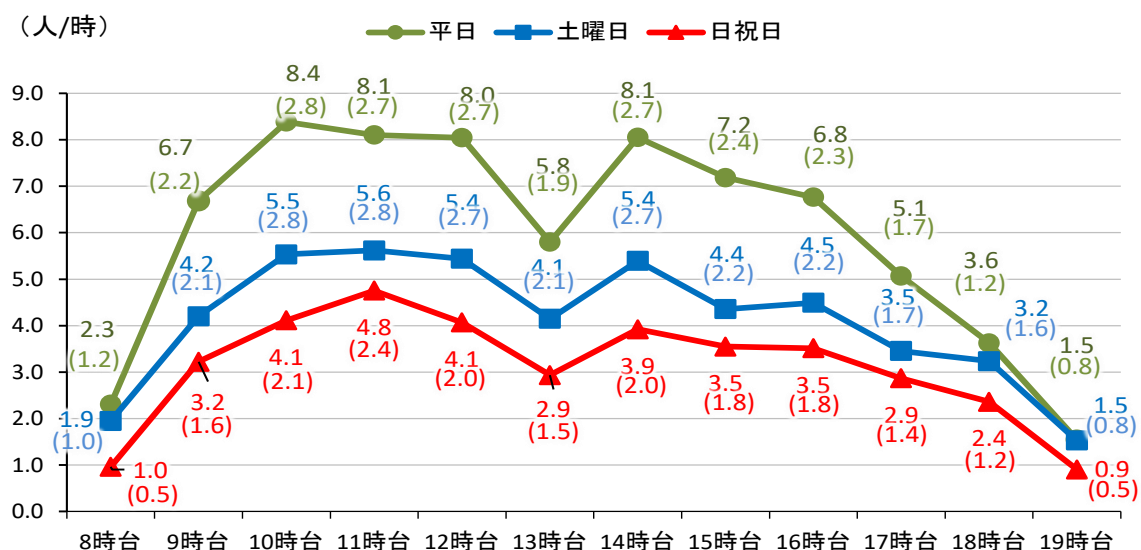


図-12.曜日別の「おでかけなんじ」の利用者数

3.5 曜日別時間帯別の利用状況

- 平日は、10時台の8.4人/時をピークに、13時台は乗務員交代のため一時的に利用者数が減少するものの、9時台から17時台において5.0人/時以上の利用がみられます。
- 日祝日の利用が少なく、ピークの11時台においても4.8人/時にとどまっており、8時台及び17時台以降は3.0人/時を下回っています。
- 8時台及び18時台、19時台はすべての曜日で4.0人/時を下回っています。1台当たりにおきかえると、2.0人/台未満となっており、2人以上の乗合でなく、一人での利用も多くなっています。



※()内は、1台当たりの利用者数

図-13.曜日別時間帯別の利用状況(令和5年度)

3.6 性別の構成

- 利用者の男女比は概ね 3 : 7 となっています。
- 利用者の男女比の推移に大きな変動はみられません。

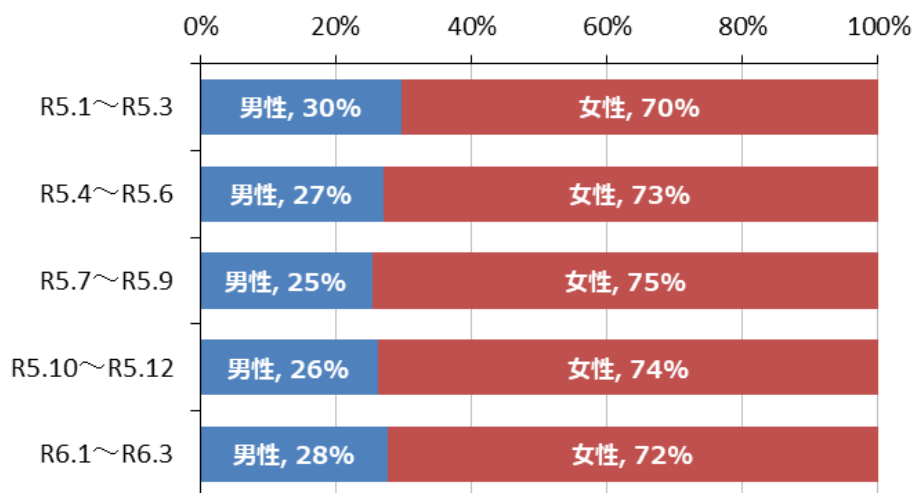


図-14.利用者の性別の推移

3.7 年齢構成

- 令和 5 年度における利用者の年齢構成は、「80～84 歳」が 35%と最も多く、次いで「85 歳～」が 30%、「75～79 歳」が 16%と高齢者の利用が多くなっており、75 歳以上が全体の 81%を占めています。
- 年齢構成の推移をみてみると、各期間共に大きな変化はなく、「75 歳以上」が 80%前後を占めています。

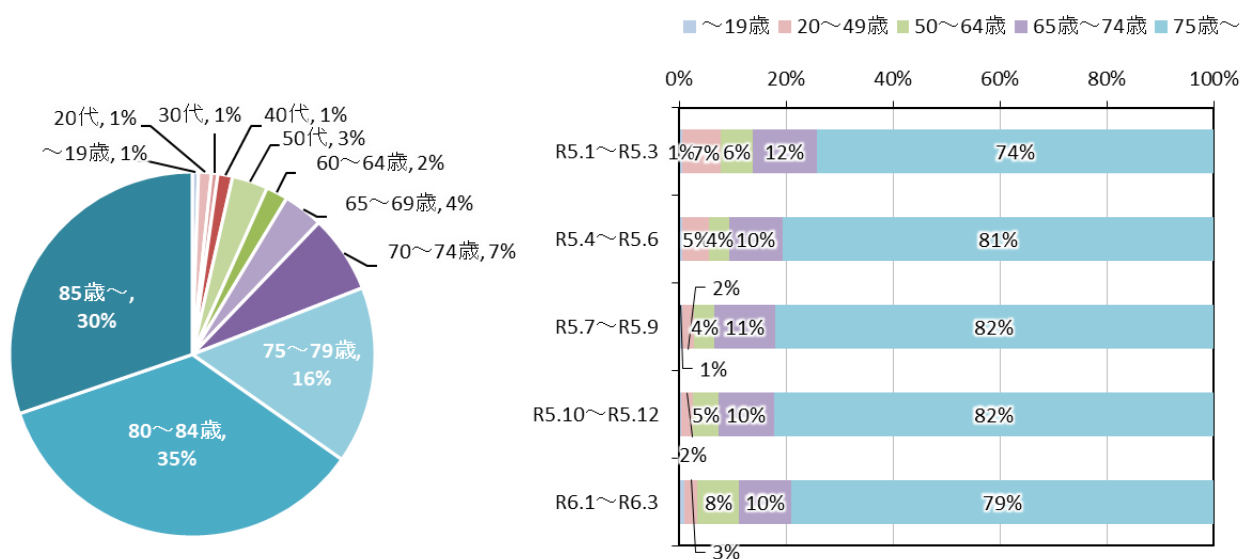


図-15.利用者の年代(令和 5 年度)

図-16.利用者の年代の推移

3.8 市民と観光客

- 令和 5 年度における観光客の利用割合は 3%にとどまっています。
- 四半期ごとの観光客の利用者数をみると、どの期間も 2.0 人/日前後となっており、観光客の利用は少ない状況です。

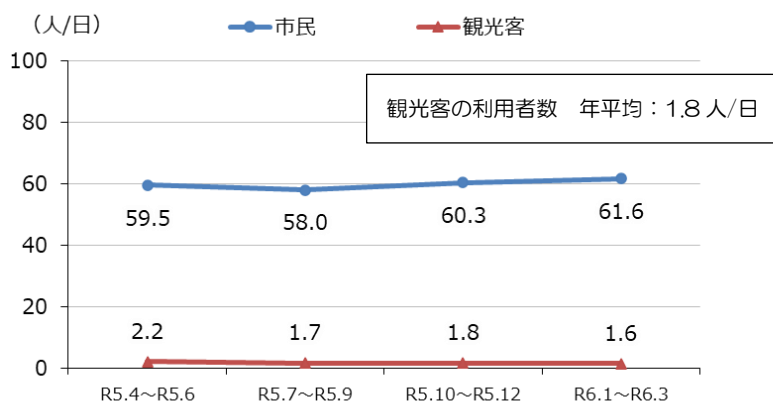
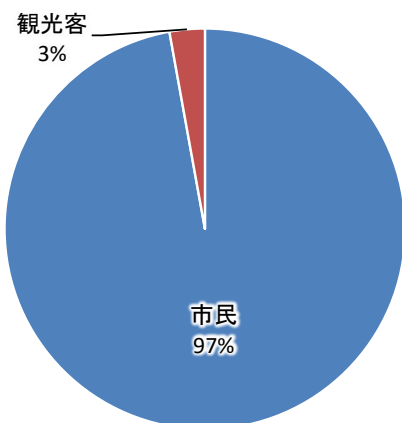


図-17.市民と観光客の構成比(令和 5 年度) 図-18.おでかけなんじいの市民と観光客の利用者数の推移

3.9 おでかけなんじいの実利用者

- 令和 5 年度における「おでかけなんじい」の実利用者数は 1,296 人であり、南城市総人口の 2.8%を占めています。
- 年間の利用回数の上位 19 人（1.5%）で全利用の 20%、上位 79 人（6.1%）で全体の 50%を占めており、利用が特定の方に偏っています。

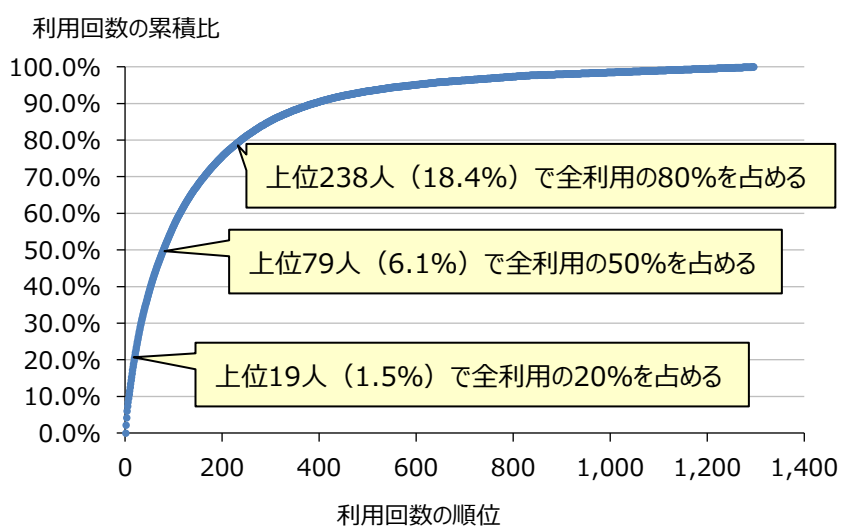


図-19.実利用者の年間利用回数の順位と累積利用回数との関係

4 令和 5 年度の利用状況のまとめ

- N バス及びおでかけなんじいともに、新型コロナウイルス感染症の影響緩和により、利用者が安定してきています。また、N バスは「N バス運賃支援事業」の効果もあり利用者数が増加しています。
- N バスの利用者数の増加に伴い、市内の公共交通の利用者数が再編前の約 260 人/日から令和 5 年度は約 570 人/日へと約 2.2 倍に増加しています。
- N バス、「おでかけなんじい」とともに土曜日、日祝日の利用者数が平日に比べ少なく、休日の需要喚起又は、ニーズに応じた運行計画の見直しが課題としてあげられます。
- おでかけなんじいは、75 歳以上の利用が約 8 割を占め、また、利用回数の上位 79 人（6.1%）で全利用の半分を占めるなど、特定の高齢者に多く利用されています。

表 4.令和 5 年度の利用状況のまとめ

項目	内容
利用者数	●新型コロナウイルスの影響が緩和し、N バス及びおでかけなんじいともに利用者数が安定してきている。 ●N バスの利用者数が大きく増加しており、市内の公共交通の利用者数は再編前の約 260 人/日から、令和 5 年度は約 570 人/日へと約 2.2 倍に増加している。
曜日別/時間帯別の利用状況	●「N バス」、「おでかけなんじい」とともに土曜日、日祝日の利用者数が平日よりも少ない。 ●「おでかけなんじい」は、平日の 10 時台をピークに午前、午後の利用が多く、夕方は利用者数が少ない。
性別の構成	●「おでかけなんじい」利用者の男女比は概ね 3：7 で大きな変動はみられない。
年齢構成	●「おでかけなんじい」の利用者の年齢構成は 75 歳以上が利用者の 81%を占める。
市民と観光客の利用	●「おでかけなんじい」の観光客の利用は、3%にすぎず、大半が市民の利用となっている。
おでかけなんじいの実利用者	●「おでかけなんじい」の利用は、ヘビーユーザーに偏っており、実利用者 1,296 人のうち上位 79 人（6.1%）で全体の利用回数の 50%を占めている。